



かもめ連来設
今年もグリーンTAOKAで阿波踊り！



【発行】

リハビリセンター
グリーンTAOKA
広報委員会

徳島市川内町
北原31-3
088-678-5555



第332号



納涼会

7月22日(水)に、かもめ連に所属する総勢25名の方たちが阿波踊り披露の為、リハビリセンターグリーントアOKAへ来設されました。まず最初、13時30分ごろに1階の通所リハビリを利用されているご利用者様に披露していただき、その後3階に移動して、入所のご利用者様の前でも披露していただきました。かもめ連の皆様による力強く華麗な踊りがご利用者様の前で披露され、さらに、太鼓、笛、三味線など美しいぞめぎのリズムが踊りと合わさって、とても迫力のある阿波踊りとなっておりました。ご利用者様のご家族様も見物に来設されており、ご利用者様と一緒に手拍子をされたり、手



(ハイタッチする連員とご利用者様)

で踊ったり、ニコニコと楽しそうに
されており、見物者の中には懐かし
さからか涙を流されている方もいらっ
しゃいました。

踊りは30分ほどでしたが、ご利用
者様からは「良かったな」、ありが
とう」などのお声を頂き、喜んで頂
けたかと思えます。

これからもご利用者様に喜んでい
ただける催しを、皆様からの要望も聞
きながら職員一同で考えたいと思
います。

（介護部 太平 雅資）



(法被を纏うご利用者様)



当施設から見える花火

(相談員 樋口 尚)

毎年恒例の吉野川フェスティバルが、今年も7月31日、8月1日、8月2日の三日間で開催されました。吉野川フェスティバルでは、屋台や音楽コンサート等も開催しておりますが、目玉となるのは夜8時45分頃から始まる打ち上げ花火です。当施設からの展望は絶景であり、特等席での見物を、毎年ご利用者様も楽しみにして下さっています。今年もダイニングルームへ集まって頂き、打ち上げ花火を楽しんで頂きました。花火を嬉しそうに見物するご利用者様を見て、日本人にとって花火は、年齢を重ねても心に残る夏の風物詩であると改めて実感しました。来年もご利用者様に打ち上げ花火を楽しんで頂きたいと思います。



吉野川フェスティバル

行事食



7月22日の納涼会に合わせて、昼食はお祭り気分を楽しめる特別なメニューをご用意させていただきました。

祭りの屋台では定番のたこ焼き・フライドポテト・から揚げをご用意。トッピングに枝豆コーンを添えて彩りよく仕上げ、口直しに胡瓜の塩昆布和えを小鉢に添えて、暑い日でもさっぱりと召し上がっていただけたように工夫しました。

ご利用者様に、少しでも夏祭りの雰囲気を感じて頂けたら幸いです。今後も食を通じて、ご利用者様の心身の健康や幸福度を上げていきたいと考えております。

(管理栄養士 竹野 有希子)

通所だより



梅雨が明け、照りつけるような太陽の日差し、蝉の声も朝からにぎやかとなり、今年も昨年以上の厳しい暑さとなりました。

そんな中、通所リハビリでは、美味しく涼を感じていただこうと、おやつレクで、片栗粉ときなこを使用した「わらび餅アイス」をご利用者様と一緒に作りました。

「美味しー」「暑い日に、これはいいわー」と皆さん喜ばれており、のどごしや食感も良く、体にも栄養が摂れる涼やかなおやつ作りとなりました。これからも季節に合った様々なおやつ作りに挑戦したいと思っております。

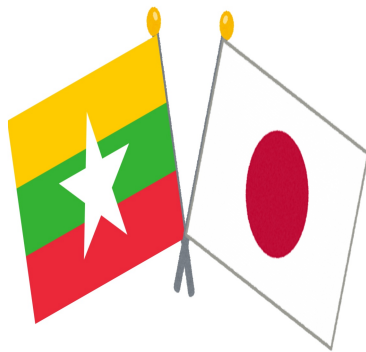
(通所リハビリ 白石 美砂子)

技能実習生

ミャンマー出身の技能実習生タカロさんとナイチさんが当施設に介護職員として仲間入りしました。

入職して間もなく、慣れない環境の中で先輩職員の指導を受けながら研修に励んでおり、丁寧で前向きな姿勢が印象的な二人です。ごみの分別など文化やルール、言葉の違いに苦労しているようですが、少しでも早く慣れるように支援してまいります。

(事務部 内田 浩司)



【施設の予定】

9月2日(水) 通所・散髪会
9月3日(木) 入所・散髪会
9月17日(木) グリーンカフェ
9月19日(土) 敬老会
9月25日(金) ぱん小屋れもん



介護のお仕事を始めたきっかけは？

両親が高齢になったとき、自分で介護をしたいと思ったので介護の勉強をすることにしました。

(タカロさん)

故郷でも、おばあちゃんと一緒に過ごす時間がとても楽しく、正しい知識を学んで将来に活かしたいと思いました。

(ナイチさん)